

平成28年度第1回農林水産消費安全技術センター契約監視委員会審議概要

開催日	平成28年5月18日(水)
場所	さいたま新都心合同庁舎検査棟7階 大会議室
出席者	委員長：寺山 昌文 (寺山公認会計士事務所所長) 委員：大塚 嘉一 (菊地総合法律事務所所長) 委員：二階堂孝子 (独立行政法人農林水産消費安全技術センター監事)
議題	(1) 平成27年度(第3及び第4四半期)の契約状況の点検・見直し ア 「競争性のない随意契約」及び「一者応札・一者応募」のフォローアップについて イ 競争性のない随意契約の契約状況について ウ 一者応札・一者応募の契約状況について (2) 調達等合理化計画について ア 平成27年度の調達等合理化計画実施状況の自己評価(案) イ 平成28年度の調達等合理化計画(案) (3) 平成27年度の公益法人に対する支出に係る点検・見直し ア 契約による支出状況 イ 契約以外の支出状況 (4) その他
審議概要	・委員長の選出については「委員の互選により選出」することとされているが、寺山委員に引き続き委員長を務めていただくことを確認した。  (1) 平成27年度(第3及び第4四半期)の契約状況の点検・見直し 資料について事務局から説明を受けた後、各契約の妥当性や競争性の確保の状況を確認するとともに、一者応札・一者応募の改善方法の適切性に関する審議を行った。主な質疑応答は以下のとおり。  ① 丸鋸盤の調達を競争性のない随意契約で行ったことや、その予定価格の積算の根拠について説明を求めた。 担当者から、業界団体に確認したところ安全機能を付加した製品の製作はこの会社しかできないこと、既存の丸鋸盤に安全装置を加える技術的部分を加算して予定価格を積算したこと、業界団体への納入価格も参考にしたことなどの説明を受けた。  ② 資料中の「分析機器類の保守契約の見直しや、調達等合理化計画における取組が成果を挙げていると考えられる。」との記述について具体的な取組内容の説明を求めた。 担当者から、例えば、一者応札となっていた契約を内容ごとに分割し、応札しやすくするなどの取組を行った旨の説明を受けた。

(2) 調達等合理化計画について

資料について事務局から説明を受けた後、平成27年度の調達等合理化計画実施状況の自己評価（案）及び平成28年度の調達等合理化計画（案）について点検を行った。主な質疑応答は以下のとおり。

- ① 自己評価（案）に「第三者委員会における検証・提言を踏まえ、再発防止強化策を策定し公表するとともに、担当課長及び担当者会議を開催し周知徹底を図り、不祥事の再発防止に努めた」と記載されている点について、具体的な対応状況の説明を求めた。

担当者から、調達事務に携わる職員が出席する担当課長及び担当者会議で再発防止策等の周知・徹底を図り、それぞれの会議の出席者から波及的に関係職員に伝わるようにしたとの説明を受けた。

- ② 平成27年度計画に比べ、平成28年度計画では達成すべき一者応札・一者応募の率が上がっている理由について説明を求めた。

担当者から、年度目標において一者応札・一者応募の目標値は直近年を除く過去3年の実績を平均して設定されたことから、平成28年度は平成27年度の目標値より高くなったとの説明を受けた。

- ③ 調達等合理化計画策定要領の中に、「調達及び契約方法の多様化」についての記載を求める旨の記述があることから、平成28年度の調達合理化計画での記載内容について説明を求めた。

担当者から、具体的には記述していないが、当法人では既にいろいろな取組を実施しており、その中で「調達及び契約方法の多様化」に当たる取組も実施している旨の説明を受けた。

- (3) 平成27年度の公益法人に対する支出に係る点検・見直し  
事務局から該当する実績がない旨の説明を受けた。

(4) その他

事務局から特に報告等はなく、委員から特段の意見・質問等もなかった。